



HPはこちら

新賃金・夏季手当の同時議論について

私たち東日本ユニオンは経営側より、新賃金・夏季手当の同時議論について、2度にわたり提案を受けました。この提案に対し、東日本ユニオンは「新賃金および夏季手当の議論の時期については、これまでと同様に、その都度、判断していくことに変わりはない」ことを回答しました。

◆経営側の主張

- 年度末に新賃金と夏季手当を併せて示すことで、社員は年収ベースでの見通しが一定程度立つことになる。
- これにより社員が計画的な生活設計を立てられるようになり、社員一人ひとりの働きがいの向上につながるものであるから、合理的な内容であると考えている。

◆東日本ユニオンの主張

- 労働組合や社員が求めているのは、賃金や期末手当の議論時期ではなく、納得のいく支給額である。
- 近年の賃金改定や夏季手当の支給実績など踏まえると、賃金支給の抑え込み手法となることが予想される。

**JR東日本で働く社員のみなさん！
どう思いますか！？**